

# 質 疑 ・ 回 答

令和4年12月6日

発注番号	04KA-165	件 名	百済寺跡築地塀第2期復原整備工事
No.	質 疑 事 項		回 答
1	A-12 縦胴縁 C-75×45×15×2 は第1期工事と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		別添回答書 No.1 のとおりです。
2	A-12 鉄骨築地塀の壁仕上「版築様左官仕上 3 mm」とありますが、塗り版築：外装ファームコート仕様（H=200 10 段）同等品と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		仕上がり版築状態を表現できていれば、よろしいです。詳細な仕様は受注後の協議とします。
3	A-12 壁（耐水合板、ラスモルタル、版築様左官仕上）は、盛土面に接し合板が腐食すると想定されますがその対策工事は別途工事と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		別添回答書 No.4 のとおりです。
4	A-12 木材の小口塗装は必要ありませんか、ご指示下さい。		別添回答書 No.5 のとおりです。
5	A-02 工事用水・工事用電気は、場内既存施設の利用となっておりますが工事現場の近くに存在しますか。又 水道、電気の使用量は無償支給と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		別添回答書 No.7 のとおりです。
6	A-12 雀口は配合漆喰仕上と考えてよろしいでしょうかご指示下さい		別添回答書 No.8 のとおりです。
7	A-05 桧材の等級は上小節と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。 版築造塀の版築土内に埋もれる木材は、桧一等と考えてよろしいでしょうかご指示下さい。		別添回答書 No.10 のとおりです。
8	A-05 木材保存処理（加圧注入・養生・熱処理）は木材全数でしょうか、部分的でしょうか、保存処理範囲をご指示下さい。		別添回答書 No.11 のとおりです。
9	A-05 木材に注入する薬剤は「酸化亜鉛+ポリエチレングリコールを主成分」とありますが、同等品の無色防腐処理（加圧式保存処理）に変更（主成分は異なります）してもよろしいでしょうかご指示下さい。		同等品でも可能ですが、受注後に詳細な仕様を提出して頂き、協議の上決定とさせていただきます。

10	A-04, A-12, A-17 瓦寸法について、A-12, A-17 塀断面図に、 熨斗瓦、丸瓦、平瓦の詳細な寸法記載が ありますが、A-04⑬特記仕様書の記載寸法と 異なります。A-12, A-17 塀断面図の寸法を 正と考えてよろしいでしょうかご指示下 さい。	別添回答書 No. 12 のとおりです。
11	A-12 鉄骨柱 C1-L100*100*10 と土居桁 240*90 の接続部分の柱上部プレートにボ ルト貫通穴明けが必要ですが1期工事と考 えてよろしいでしょうか、また、取付ボル ト M16 は1期工事として支給して頂けると 考えてよろしいでしょうかご指示下さい。	別添回答書 No. 15 のとおりです。
12	A-13 化粧柱取付用アングル L-6*50*50 は 1期工事ですが、コーチボルト M9 L=50 も1期工事として支給して頂けると考えて よろしいでしょうかご指示下さい。	別添回答書 No. 16 のとおりです。
13	A-08, A-12 壁@3,012 の縦目地切り寸 法、仕様をご指示下さい。	別添回答書 No. 17 のとおりです。
14	A-5 主要な部位や接合部を工場にて仮組 する事とありますが、1 スパン W=3012 程 度と考えてよろしいでしょうかご指示下 さい。	一般部は1スパン程度でも構いませんが、南 東隅部の仮組は必須と考えています。
15	A-17 図端部断面図礎石の仕様をお教え ください。	別添回答書 No. 18 のとおりです。
16	A-17 図同上礎石納まり寸法が基礎幅から 外れると考えますが、外れた部分はモル タルによる調整と考えればよろしいで しょうか。	別添回答書 No. 18 のとおりです。
17	A-16. 17 版築造部分は基礎と柱の緊結は ないとして考えればよろしいでしょうか。	別添回答書 No. 20 のとおりです。
18	A-03 2 改質アスファルトシート防水 AS-J1 とありますがどこの部位でし ょうか。	別添回答書 No. 21 のとおりです。
19	A-3 12 木工事 ⑫壁及び天井下地に樹種 松とありますが、どの材料の事では しょうか。	別添回答書 No. 22 のとおりです。
20	A-04 15 左官工事 ⑥仕上塗材仕上 薄 付仕上塗り材 砂壁状吹付とありますが、 A-12 図では版築様左官仕上 3mmとあり ますが、どちらでしょうか。 また、材料は市販既製建材でしょうか。	A-12 図を正としてください。 市販既製建材でも可能ですが、受注後に詳細 な仕様を提出して頂き、協議の上決定とさ せて頂きます。
21	A-12. 17 野地板もヒノキ材でしょうか。	別添回答書 No. 24 のとおりです。

22	A-14.16 間柱 貫外面と版築土のかぶり厚が 37mmとなっていますが、亀裂や破断を起こすと考えます。どのような工法をお考えでしょうか。	別添回答書 No. 25 のとおりです。
23	A-14.16 貫の柱仕口は下げ鎌でしょうか。	別添回答書 No. 26 のとおりです。
24	A-08 柱端下端部の礎石の仕様をお教えてください。また鉄骨柱部分は石材を欠き取るものと考えてよろしいですか。	別添回答書 No. 18 のとおりです。
25	A-08 第一期工事基礎天及び鉄骨は水平に納まっているのでしょうか。	別添回答書 No. 28 のとおりです。
26	A-12 第一期工事施工の鉄骨柱は、端部及び矩形部分については、柱転びを考慮した形状となっていると考えてよろしいでしょうか。	別添回答書 No. 29 のとおりです。
27	A-05 4 木材保存処理は指定業者がありますか。	別添回答書 No. 30 のとおりです。
28	A-05 6 瓦葺きにおいて、野地板上に防水層を設置するとありますが、A-03 ⑩ルーフィングの事でしょうか。	別添回答書 No. 31 のとおりです。
29	隅柱に関して、転びによる柱断面形状の考慮は必要ですか。	隅柱断面について考慮無しで構いませんが、土居桁などとの収まりは検討してください。
30	A-04 屋根工事 土居葺き材樫材は手割材でしょうか。	別添回答書 No. 32 のとおりです。
31	A-02 交通誘導員は作業日のみの配置と考えてよろしいでしょうか。	別添回答書 No. 33 のとおりです。
32	A-03.05 ⑫木工事 防腐処理とありますが、木材保存処理したものに防腐処理を行うのでしょうか。	別添回答書 No. 34 のとおりです。
33	トイレは公園内公衆トイレを使用することが可能でしょうか。	別添回答書 No. 35 のとおりです。
34	A-03 05 使用材料は全てヒノキ材とありますが等級をお教えてください。上小節 小節 一等など	別添回答書 No. 10 のとおりです。
35	A-03① 表面仕上げ A 種とあり、鉋仕上と認識しますが、復元工事におけるの時代考慮無しの仕上げでしょうか。	そのとおりです。
36	A-05 4 木材保存処理は、日本木材保存協会 A 級認証のエコアコール処理でもよろしいですか。	No. 9 のとおりです。

E-mail 送付先 : keiyaku-kouji@city.hirakata.osaka.jp (工事)  
keiyaku-itaku@city.hirakata.osaka.jp (委託)  
keiyaku-buppin@city.hirakata.osaka.jp (物品)